

## 直らないところは直さない！ ケアレスミス トレーニングメニュー表

- ① 純粋うっかりミス ⇒ 勉強やテストに対する緊張感や性格の問題。すぐに直るものではありません。時間を区切ったテスト形式の演習を続けることで改善します。
- 解答欄に答えを書くのを忘れた
  - 式で出した答えとは別の数字を解答欄に書いた
  - 記号で答える問題なのに語句を書いてしまう
  - 「誤っているものを選べ」と書いているのに正しいものを選んでしまう
- ② 雑ミス ⇒ 字を丁寧にするのはほとんど不可能。雑でもまちがわない工夫をする。
- 自分が書いた字を途中で読み違える（0→6など）
  - 自分で書いた計算符号を読み違える（+→×など）
  - 筆算の位がずれてまちがえる
- ③ 計算ミス ⇒ 計算練習不足。これはケアレスミスではありません！計算ドリルをたくさんしよう。
- 繰り上がり・繰り下がりミス
  - 割り算ミス
  - ケタ、小数点ミス
- ③ 読み違い・かんちがい ⇒ これも練習不足。問題慣れしていない。応用問題、文章題を含んだ問題集に取り組む。
- 単位を間違える
  - 求めるべき数字を間違える
- ④ ぼんやりミス ⇒ うっかりミスとはちがうが、「家ではできるのにテストではできない」ことになりやすい。
- とちゅうでなんとなく計算をやめてしまう
  - 記述問題を書こうとしない
  - 難しい問題のところで手が止まる
  - できない問題を飛ばせない

### ねらい

キミの「ケアレスミス」はどのタイプ？ 分析してみよう！

### やりかた

1. うっかりを減らすためには、まずは「うっかりじゃないのにうっかりだと思っている」間違いを減らすこと。どんなミスが多いのかをチェックして、次のテストに生かそう！

2. どっちにしろすぐには直らないのでじっくりと！

☆小学高学年以上でミスの多い人は、**やった問題は自分でまるつけ、直しまでする習慣を**。正誤確認の甘さが、ミスを野放しにする「やりっぱなし勉強」を常習化させることに。

☆お家の人は、本人の前で「も～！ うっかりミスが多いんだから！」と言わないこと！これが一番大事～。

memo

---

---

---

---

---